

令和元年度 第30回関東高等学校バスケットボール新人大会

令和2年2月9日(日) 女子 決勝 小瀬スポーツ公園体育館 Aコート 第3試合

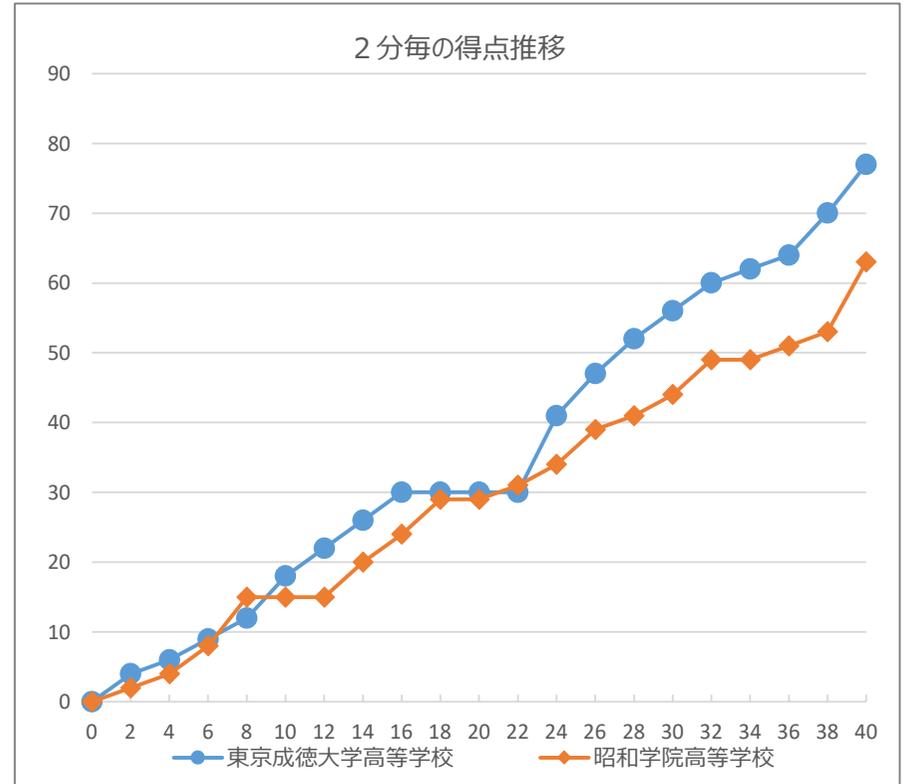
チームA 東京成徳大学高等学校 (東京都)	77	18 1st 15	63	昭和学院高等学校 (千葉県)	チームB
		12 2nd 14			
		26 3rd 15			
		21 4th 19			
		OT			

Aチーム： 東京成徳大学高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1	*	4	山田 葵	15	1	3	4	12	4	6	1	0	12	12
2	*	5	青野 美玖	14	0	1	6	18	2	2	2	3	2	5
3	*	6	須田 理恵	11	0	2	4	12	3	3	1	1	7	8
4		7	山口 希乃夏											
5		8	佐坂 光咲	7	0	0	3	5	1	1	2	1	3	4
6	*	9	小島 瑠生	3	0	0	1	5	1	1	4	2	2	4
7		10	山本 幸乃											
8		11	林 こはる											
9		12	村上 瑠莉											
10	*	13	古谷 早紀	27	0	0	13	21	1	3	2	2	7	9
11		14	鷹山 朋子											
12		15	曾我 瞳桜子											
13		16	高橋 美悠											
14		17	土屋 百々											
15		18	石井 沙羅											
HC/TEAM			遠香 周平									2	5	7
合計				77	1	6	31	73	12	16	12	11	38	49

Bチーム： 昭和学院高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1	*	4	三田 七南	14	1	3	5	12	1	1	2	2	18	20
2	*	5	中村 帆香	12	2	4	3	3	0	0	2	2	4	6
3	*	6	西 ファトゥマ 七南	10	2	5	2	7	0	0	1	2	1	3
4		7	森長 海羽	4	0	3	2	6	0	0	0	2	1	3
5	*	8	花島 百香	6	0	0	3	5	0	0	4	1	3	4
6		9	田嶋 優希奈	11	2	18	2	4	1	2	0	0	1	1
7		10	廣瀬 七歩											
8		11	田平 真弥	2	0	0	1	5	0	0	0	0	3	3
9	*	12	アチャラ オゲチ クランシー	2	0	0	1	3	0	0	2	5	5	10
10		13	古川 七菜子											
11		14	石橋 花穂	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
12		15	蛭町 真歩	2	0	0	1	2	0	0	4	0	2	2
13		16	大城 かおり											
14		17	藤本 梨奈											
15		18	加々美 穩空											
HC/TEAM			鈴木 親光									4	0	4
合計				63	7	34	20	47	2	3	16	18	38	56



戦評

記者者：内藤 隆志 (山梨県高体連)

1Q：両チームともにマンツーマンディフェンス。最初の得点は東京成徳#13、すぐに昭和学院#4も得点し、点差は離れない。18-15と東京成徳が3点リードする。
 2Q：序盤、東京成徳#5の連続得点などで24-15とリードを広げる。昭和学院はメンバーチェンジをし、#8、#11と連続でインサイドから得点する。一進一退の攻防は続き、30-29東京成徳1点リードで折り返す。
 3Q：両チームともにディフェンスからの速い攻撃を試みる。昭和学院が逆転し32-33となったところから、東京成徳のディフェンスの頑張りからのスティール、ファストブレイクが連続し、連続9得点を上げ41-33と東京成徳リード。昭和学院も#4の連続得点や#5の3Pで挽回を図るが、東京成徳は#13が走り得点し、56-44と12点リードとする。
 4Q：昭和学院#5のシュートが決まり、10点差となる。東京成徳は#4の連続得点で突き放しにかかる。激しいリバウンドやルーズボール争いの中、点差は縮まらない。昭和学院は最後まで諦めず、東京成徳は慌てることなく、ゲームをコントロールした。両チームがすばらしい頑張りを見せた試合は77-63で東京成徳が勝利し、関東を制した。

主審	第1副審	第2副審
古畑 香子 (茨城県)	星野 由貴 (群馬県)	河野 仁 (山梨県)